

## 令和5年度階層別選択研修（共同）

# 「ゲームで学ぶ・自治体経営シミュレーション～公共政策の創造・発展に向けて～」 実施要領

### 1 目的

今後起こりうる地域の課題を、対話型自治体経営シミュレーションゲームを通じて体感しながら、自治体経営における長期的ビジョンの必要性、住民に対する説明責任の重要性等について理解を深めます。

また、民間や市民の役割とのバランスを踏まえ、改めて公共の役割を見直すことで、これからの公共政策の創造・発展に向けた考え方を養います。

### 2 対象

【県】令和5年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員

【市町村】主査・係長級の職員

### 3 予定人員

県16人・市町村16人

### 4 日程

10月25日（水） 9:00～16:30

9:00	9:05	12:00	13:00	16:25	16:30
オリエンテーション	講義・演習	休憩	講義・演習	講義の振り返り等	

### 5 講師

明治大学 名誉教授 青山 侑 氏

### 6 会場

彩の国さいたま人づくり広域連合 自治人材開発センター

【所在地】さいたま市北区土呂町2-24-1

### 7 携行品

筆記用具、名札（日常使用しているもので結構です。）

### 8 その他

(1) 実施要領、シラバス（研修科目案内）、「充実した研修にするために～研修生の心得～」を必ず御確認の上、御参加ください。

(2) 研修中はこまめに手洗いや手指消毒を行ってください。

また、発熱や咳の症状が見られる方は、研修の受講を御遠慮ください。

なお、研修中に体調が優れなくなった場合は、速やかに事務局にお申し出ください。

※マスクの着用については、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねることとします。

(3) 業務等の都合によりやむを得ず欠席（遅刻・早退）する場合は、欠席（遅刻・早退）届を以下のとおり提出してください。また、欠席（遅刻・早退）することが当日判明した場合は、速やかに当広域連合に連絡してください。

【提出方法】

（県職員）電子申請フォームより（<https://logoform.jp/form/vqMu/187195>）御提出ください。

（市町村職員）研修担当課へ欠席（遅刻・早退）を申し出てください。

(4) 昼食は、近隣に施設が少ないので、なるべく各自で用意してください。

なお、業者による弁当の販売は行いませんので、御注意ください。

担当：人材開発グループ県職員担当 土居【E-Mail】n.doi@hitozukuri.or.jp  
市町村職員担当 菊地【E-Mail】s.kikuchi@hitozukuri.or.jp  
【電話】048-664-6681（県職員担当） 048-664-6684（市町村職員担当）  
【FAX】048-664-6667（共通）

# 充実した研修にするために

## ～ 研修生の心得～

### 1 研修開始前までは

- ① 研修開始時刻5分前までには会場に到着して、出席簿にフルネームでサインをしてください。所属・氏名等に誤りや漏れがある場合は、速やかに研修担当者に申し出てください。
- ② 研修開始時刻までに着席し、受講態勢を整えてください。

〔日程例〕

1日目	朝の セッション	講義・演習	休憩	講義・演習		
	9:00	9:05	12:00	13:00	16:25	16:30
2日目	講義・演習	休憩	講義・演習	講義の 振り返り等		

### 2 研修中は

- ① 私語は、他の研修生の迷惑となりますので慎んでください。
- ② 演習は講師の指示に従い積極的に参加してください。なお、討議終了時刻や、発表のための集合時刻に遅れないよう、時間管理をしっかり行ってください。
- ③ 研修受講中にやむを得ず入室する場合は、講師に対し失礼のないよう黙礼し、着席（退席）してください。
- ④ 携帯電話は、電源を切るかマナーモードにするなど音が鳴らないようにし、応答やメールは控えてください。
- ⑤ 研修受講中の飲食は原則禁止です。
- ⑥ 名札は、研修生相互の交流と事務連絡の円滑化を図るためのものですので、必ず着用してください。
- ⑦ アンケートは、研修の企画・運営の参考にさせていただくとともに、研修の参加確認を行うため記名式になっています。休憩時間や研修終了後の時間を利用して御入力いただき、必ず提出してください。
- ⑧ 膝掛け及び座布団の貸出は、感染予防対策の観点からしばらくの間実施しません。必要な方は各自御準備ください。
- ⑨ 研修終了後は、研修担当者の指示に従い静かにお帰りください。
- ⑩ 講義の録音・録画・撮影は、講師から許可がある場合を除き、原則禁止です。

### 3 休憩のときは

- ① 他の研修の迷惑にならないよう行動してください。なお、貴重品は携行してください。
- ② 喫煙は、屋外の喫煙場所をお願いします（館内は全面禁煙です。）。
- ③ 昼食は、2階の指定の教室又は研修室内でお取りください。
- ④ ゴミは、お持ち帰りいただくか、2階廊下のゴミ箱に分別してお捨ててください（ペットボトル等の放置がないように御注意ください。また、ゴミ、ペットボトル等の分別収集に御協力ください。）。

### 4 当番の役割は

必要な場合、研修担当者から別途お願いいたしますので、御協力ください。

### 5 こんな場合には

- ① 遅刻・早退・欠席をするときは、その理由を所定の入力フォームに記入して、研修担当者に届け出てください。なお、遅刻、欠席の場合は、必ず事前に連絡してください。
- ② 研修中は、緊急の場合を除き、外部からの連絡は取り次ぎません。伝言等は研修室後方の白板に掲示しますので、休憩時やお帰りの際に必ず確認してください（確認後は必ず伝言等を消してください。）。
- ③ 自動車での来所は、特別の事情がない限り御遠慮ください。やむを得ず自動車を使用するときは、環境保護のため、樹木に排気ガスがかからないように前向駐車をし、また、駐車場内ではアイドリング・ストップをお願いします。
- ④ 万一に備え、館内案内図を見て非常口を確認してください。地震・火災等の発生に伴い避難が必要な場合には、館内放送及び広域連合職員の指示に従い、冷静かつ迅速に行動してください。
- ⑤ 研修の記録として写真を撮らせていただくことがあります。なお、撮影した写真を当広域連合で発行する情報誌等で使用する場合がありますので御了承ください。
- ⑥ 体調等が優れない場合は、速やかに研修担当者や事務室職員にお申し出ください。

# 自治人材開発センター案内図

【所在地】 <sup>とろ</sup>さいたま市北区土呂町2-24-1 【電話】 048-664-6681

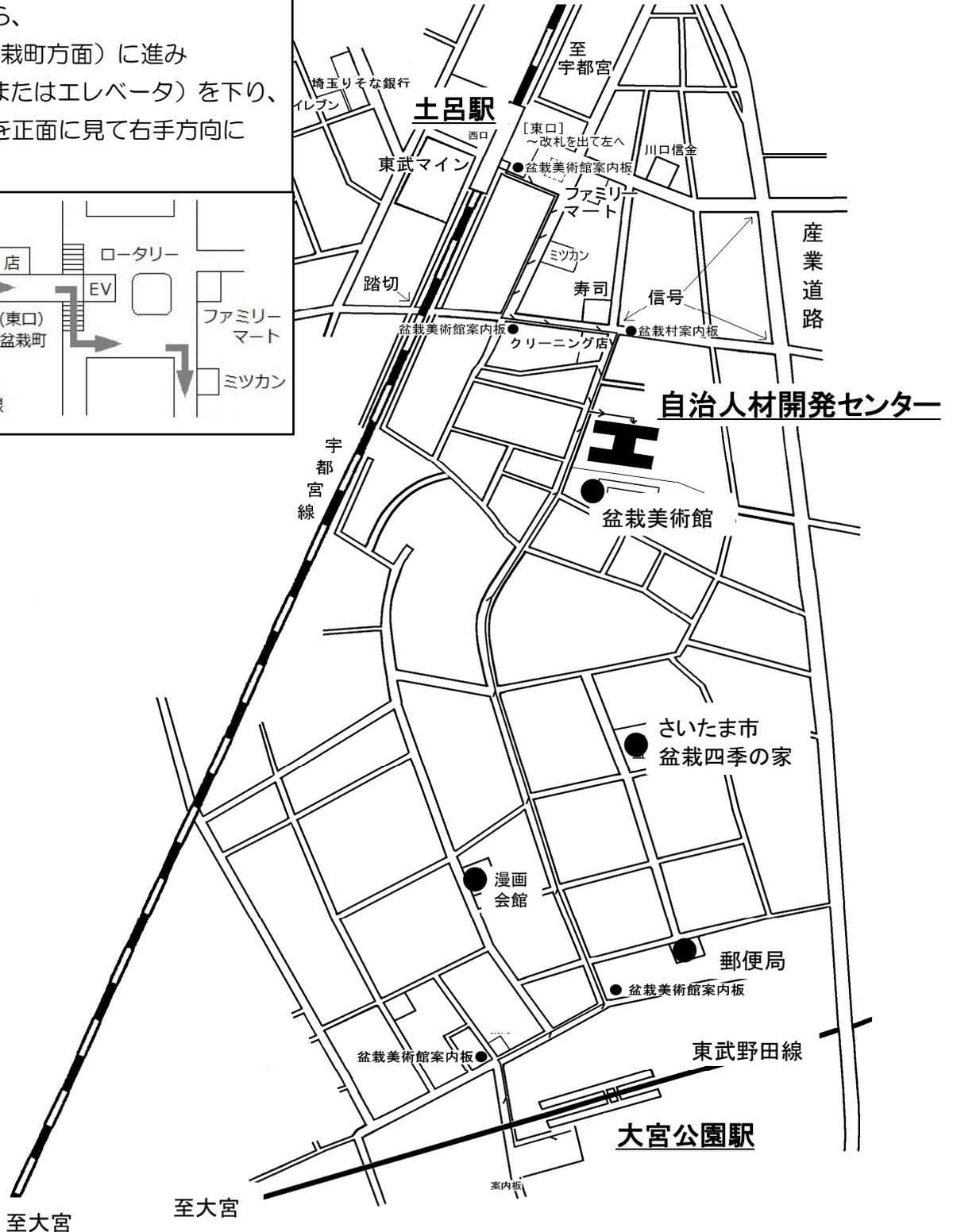
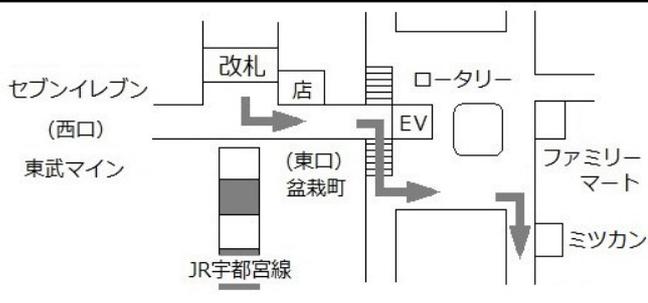
**JR宇都宮線** 土呂駅(東口)から徒歩約5分

**東武野田線** 大宮公園駅から徒歩約10分

## JR宇都宮線 土呂駅 より

土呂駅の改札を出たら、

- ①左手の「東口」(盆栽町方面)に進み
- ②次に右側の階段(またはエレベータ)を下り、
- ③ファミリーマートを正面に見て右手方向にお進みください。



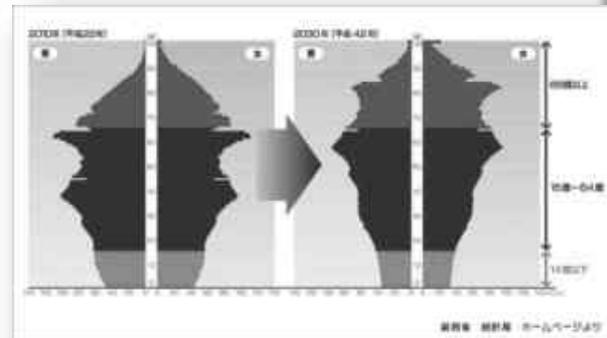
## 階層別選択研修（共同）

研修名	主査・係長級	受講者の声		
	<p style="text-align: center;"><b>ゲームで学ぶ・ 自治体経営シミュレーション ～公共政策の創造・発展に向けて～</b></p>	<p>豊富な経験に基づいたひとつひとつのお話が大変ためになりました。自治体経営においては、やみくもに事業を削減するのではなく、まずどこに重きを置いてどのような特色を出していくかというビジョンを鮮明に描く必要があることが理解できました。</p>		
講師	<p>明治大学 名誉教授 <small>あおやま やすし</small> 青山 侑</p>	実施日数・時間	1日間	
		手法	通所研修	
		会場	自治人材開発センター	
		市町村研修コード	252	
ねらい	<p>今後起こりうる地域の課題を、対話型自治体経営シミュレーションゲームを通じて体感しながら、自治体経営における長期的ビジョンの必要性、住民に対する説明責任の重要性等について理解を深めます。</p> <p>また、民間や市民の役割とのバランスを踏まえ、改めて公共の役割を見直すことで、これからの公共政策の創造・発展に向けた考え方を養います。</p>			
対象者	<p>【県】令和5年4月1日現在、主査級の職に昇任後1年以上経過している職員 【市町村】主査・係長級以上の職員</p>			
実施日	10/25(水)			
予定人員	県16人・市町村16人			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	<p>自治体経営と公共政策</p> <p>現代における自治体の重要性</p> <p>市場化と公共関与の問題</p> <p>NPM（ニュー・パブリック・マネジメント）とガバナンス</p> <p>市民の役割、行政の役割</p> <p>自治体経営シミュレーションゲーム（SIM2040）</p>	6	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体経営とは</li> <li>・公共政策とは</li> <li>・時代の変化と行政の役割</li> <li>・地方自治の歴史と考え方</li> <li>・欧米の自治体と日本の自治体</li> <li>・相次ぐ市場の失敗</li> <li>・市場に対して公共がどう関与するか</li> <li>・NPM（新しい行政経営）</li> <li>・公平性と格差</li> <li>・公共政策</li> <li>・地域ガバナンスとは</li> <li>・現代社会の諸問題と自治体の役割</li> <li>・経済社会のグローバル化と市民や行政の関与</li> </ul> <p>グループに分かれ、架空の自治体経営を行います。演習後、振り返り・まとめを行います。</p>
特記事項	<p>・参考図書（講義内容の理解を深めるために、事前学習や復習に最適な図書です。） 青山 侑 著『自治体の政策創造』（三省堂）</p>			



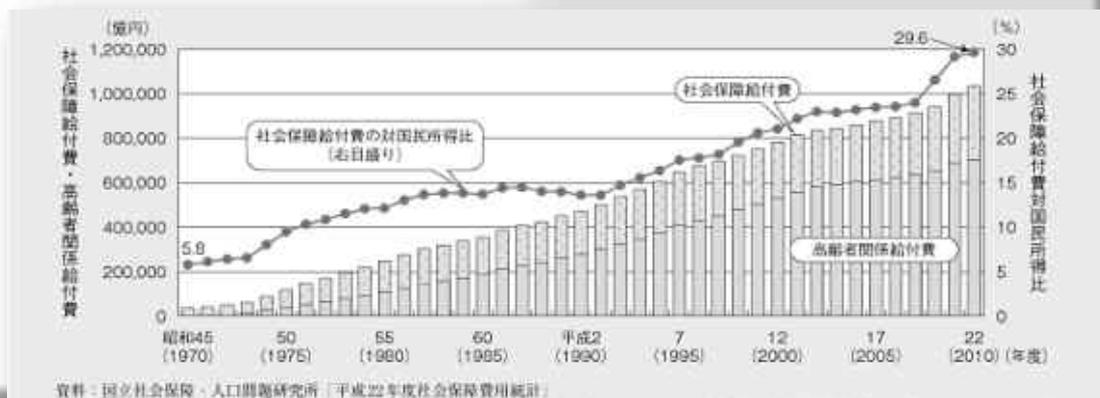
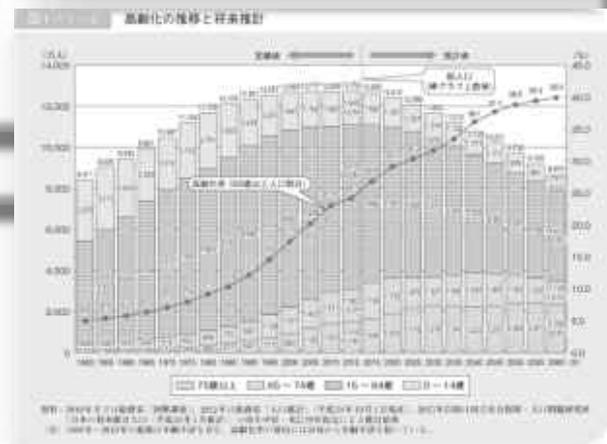
# 【2030年問題】

**戦**後に生まれた団塊の世代が**高齢化**し、2025年頃から75歳以上の後期高齢者世代に突入し始める。日本の人口構成も、図1のようにピラミッドの上層部分が大きくなり、2030年には、3人に1人が65歳以上の高齢者と言われるほど、高齢者率の上昇が予想されている。



# 【限りある財源】

**人**口減による**税収減**、高齢化による**社会保障費増**。これまで「あれも、これも」と様々な政策を実施していたが、これから「あれか、これか」の選択を迫られる時代となる。



## 【様々な対立】

**選**択の過程で、様々な**対立**が生じてくる。



高齢者 × 若者



都市 × 山間部

## 【対話が苦手】



**大**事なことと分かってても、対立を伴うような**対話**は苦手である。多様な問題を自分のこととして捉え、参加することが大事だと思っけていてもハードルが高い。

今後起こりうる地域の課題をシミュレーションし、何が起きるかを**体感**しながら、選択の過程で生じる対立を**対話**により乗り越える体験を「ゲーミフィケーション（＝ゲーム化）」することで、これらの現状（隘路）を解決し、様々な世代、様々な地域、多様な立場が一体となったまちづくりを行う“場”を創り上げる。

リアルに“体感”

“体験”を共有

参加の“ハードル”を下げる

対話型シミュレーションゲーム

SIN熊本2030

新たなるつながり ~Lead The Next Society~

# 【ゲーム説明】

高齢化により社会保障に必要な予算が増え続けるなか、何の予算を落とし、何の予算を残していくか。そして、残された予算・事業でいかに幸せな街を作っていくか。

プレイヤーは6人1組で架空都市〇〇市の部長に就任し、2030年までの5年ごとに迫りくる課題に対して、他の部長と対話し、「市としての判断」を下していく。



# ①各部長には予算と1枚1億円規模の事業カードが配られる。



## 【事業カード例】

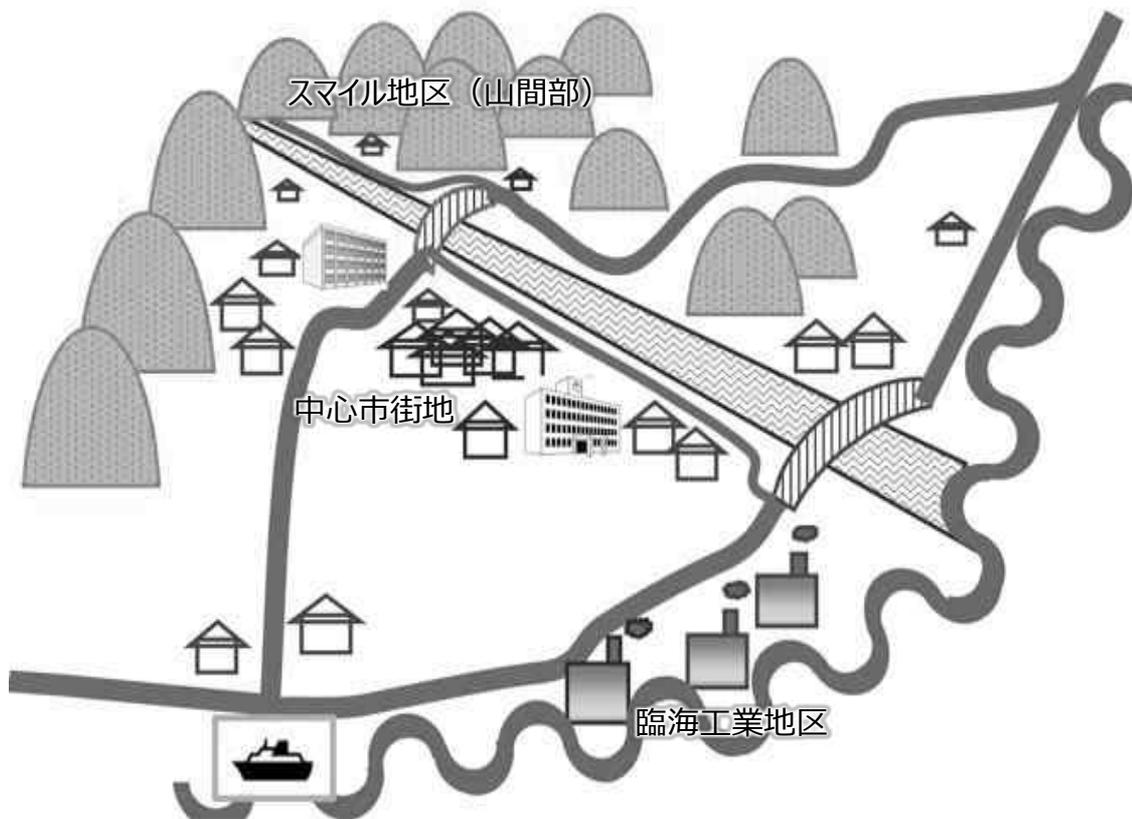
- 企画部：IT行政の推進事業、まちづくり（地域づくり）補助金
- 健福部：子ども医療費補助事業、健康づくり支援事業
- 商工部：企業誘致補助金、ゆるキャラ活動委託費、販路拡大のイベント事業
- 農政部：有害鳥獣対策事業、農業担い手育成事業、新品種開発の補助事業
- 土木部：歩道バリアフリー事業、防災対策事業、重点港湾整備事業
- 総務部：（※裁量的経費はなく、部長会議の調整役を担ってもらう設定。）

②迫りくる時間制限の中で、限りある財源をどう扱うか。どんな選択を行い、どの事業を廃止するか。こういった影響が生じて、どう対応するか。事業カードを具体的にどう運用するか。

Q. 中山間に通じる橋の更新時期が到来。  
当該道路は集落につながる大事な生命線であり要望も大きい。  
補修費は1億円。  
さて、どうする？



A. 補修する    B. 補修しない



③武器となるのは各部 5 ～ 4 0 億円の予算と、1 枚 1 億円の事業カード、そしてチームの知識と知恵と協力と、あとは決断をくだす勇氣。

刻々と進み続ける時計を前に、悠長な議論は出来ず、時代が進むにつれて事業カードは容赦なく減り続ける。

制限時間内に「市としての判断」及び「捻出元事業の決定」、「それに伴う影響への対応策の説明」ができれば、住民の反発を招き、その費用負担は赤字債（借金）で対応することとし、そのペナルティが総額 5 億円に達した場合は、財政破綻（ゲームオーバー）となる。逃げる事はもう出来ない。基本的に、歳入を増やす手だてが無く、ひたすら事業を落とし続けるのみ。終盤、絶望すら感じることもある厳しい状況の中、ふと気づくものがある。さて、あなたの市は、どんな選択をして、どんな街を目指していきますか？

## 未来を2つに分けてゲームに組み込む

### すでに起こった未来

### 前提条件

- 各部の予算はほとんどが義務的経費であり、  
裁量のある経費は各部 2 ~ 3 億円（事業カードの枚数）のみ。
- 人口減少により労働力人口・消費者人口も減少し、  
税金は 5 年ごとに 1 億円ずつ下がる。
- 反対に、高齢化の進行により、  
社会保障経費は 5 年ごとに 1 億円ずつ増加する。

### これから創る未来

### 選択肢

- 突きつけられた課題に対して、  
他の部長と対話し、「市としての判断」を決めなければならない。
- 減り続ける財源に対応するため、  
事業カードのどれかを廃止して、財源を確保しなければならない。
- 部長は自らの所管する事業カードの具体的な運用方針 （カードの詳細な内容） を決めることができる。

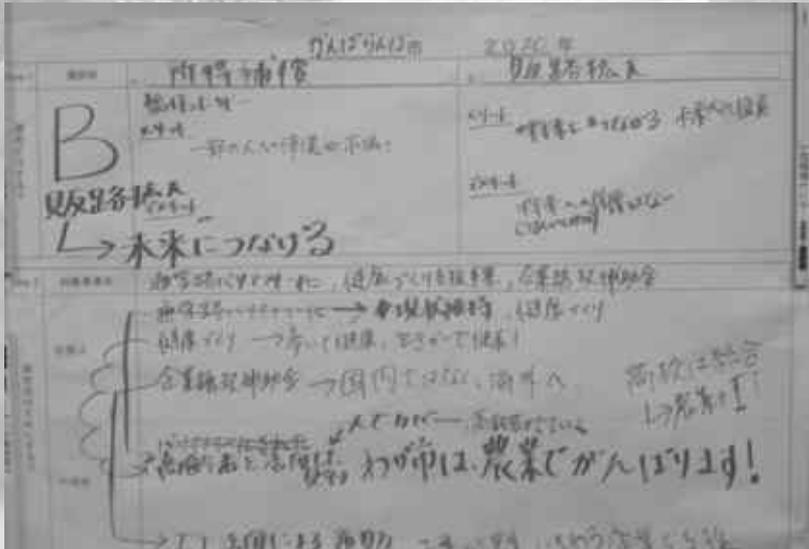
# 【開催例】第3回九州まちづくりOM“九州交流カフェ” in 熊本



地図への書き込みが“我が市”を作る



異なる自治体の職員が一緒にまちづくりを考える



議論の内容を模造紙に記録し見える化

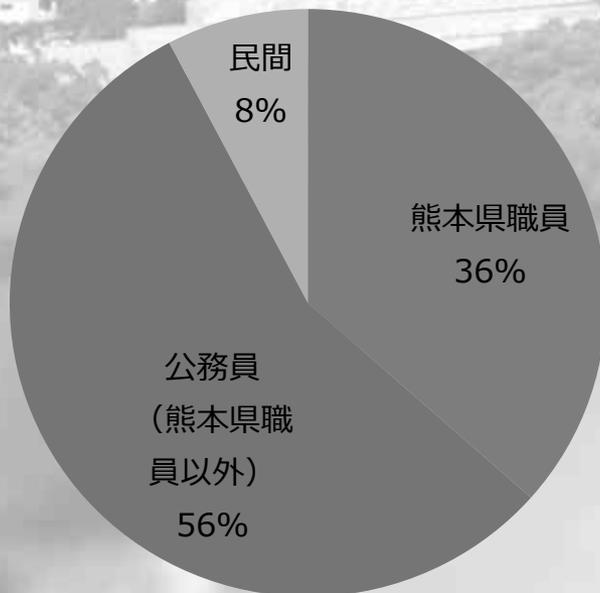


打ち解けるための“おやつ”と“遊び心”

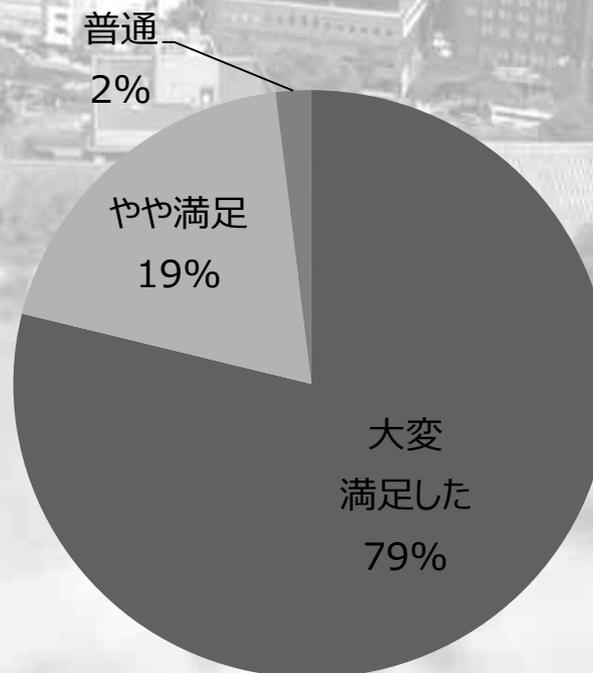
# 参加後の感想（満足度）

区分	回答者数	5	4	3	2	1	平均点
		大変満足した	やや満足	普通	やや不満	不満	
1 熊本県職員	19	11	8	0	0	0	4.58
2 公務員（熊本県職員以外）	29	27	2	0	0	0	4.93
3 民間	4	3	0	1	0	0	4.50
<b>全体</b>	<b>52</b>	<b>41</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4.77</b>

参加者比率



満足度（全体）



# 反響



平成26年10月25日  
熊本大学政策創造研究教育センター  
公共政策コンペで熊本県知事賞受賞



月刊ガバナンス  
(2015年9月号) に  
PickUp記事として掲載

# 対話の広がり

- 平成25年 8月 熊本県庁の自主活動支援制度を活用して制作開始。5ヵ月間で開発。
- 平成26年 1月 熊本県庁で県職員・県内市町村職員向けに第1回開催（32名参加）
- 平成26年 2月 上益城地域振興局（管内市町村勉強会）で開催（10名参加）
- 平成26年 8月 九州オフサイトミーティングin熊本で開催（50名参加）
- 平成26年 8月 諫早市役所（長崎）で開催（35参加）
- 平成26年10月 熊本県で庁内外の希望者向け体験会を開催（10組織から24名参加）
- 平成26年11月 福岡市役所が体験会を開催（12名参加）
- 熊本の市民大学マチナカレッジで一般向け講座として開催（30名参加）
- 平成27年 1月 熊本市役所で開催（18名参加）、人吉市役所で開催（10名参加）
- 平成27年 2月 諫早市役所で年齢別・役職別のチーム編成で開催（12名参加）
- 平成27年 4月 福岡市役所の新人研修の1コマとして簡易版を実施（300名参加）
- 熊本県で庁内外の希望者向け体験会を開催（6組織から20名参加）
- 平成27年 6月 水俣市役所で開催（11名参加）
- 平成27年 7月 福岡県庁×春日市で共同開催（29名参加）
- 大津町(熊本)で青年会議所主催のカスタマイズ版を開催（20名参加）
- 平成27年 8月 「SIM熊本2030体験会IN関東」を開催（44名参加）
- 「財政出前講座×SIM」のコラボ版を延岡市で開催（50名参加）

H26.8.9 SIM熊本2030 IN 九州OM



H27.8.1 SIM体験会 IN 関東



# 「くまもとSMILEネット」

「県職員のミッションは県民を笑顔にすること」

「まずは、自分たち県職員が笑顔になることで、県民に笑顔（元気）を届ける存在になろう！」

「そのために、自分たちで1歩を踏み出そう！」  
と平成22年9月に職員有志で結成した自主活動グループ。

現在45人程度のメンバーが参加。

定期的なダイアログ（対話）を通じて、年始のハイタッチ、退職予定者とのワールドカフェ（暗黙知の伝承）、採用PRムービー制作など様々な場づくり、プロジェクトを展開中。

